

第53回（令和7年度）市政アンケート調査結果の概要

本市では、市が行うさまざまな施策に対する「満足度」「期待」や、日頃の生活と市政などへの市民の意識や意見を調査し、その結果を市政に反映させることを目的として、市政アンケートを毎年実施しています。

本年度も以下のとおり調査を実施し、このほど結果がまとまりましたので、内容をお知らせします。

1. 実施概要

実施期間	令和7年7月18日～8月12日
実施対象	18歳以上の市民から無作為に選んだ5,000人
調査項目	【問1】市政全般への満足度・期待について（全27項目） 【問2～4】日ごろの生活と市政について 【問5～6】市の広報活動について 【問7～11】防災意識について 【問12～13】市議会について 【問14】自由回答欄

2. 調査結果（有効回答者数 1,839 人・有効回答率 36.8%）

【満足度】全27項目の平均値は5段階評価中 2.98（前回 2.93）

◆満足度が高い施策

- 1位(－)(前回1位) 市民を守る消防救急体制の確立 3.39(↑)(前回 3.31)
- 2位(－)(前回2位) ひと・まち・みずが共生する都市基盤づくり 3.25(↑)(前回 3.19)
- 3位(↑)(前回24位) 交流を生み出す新たな四日市流都市型観光 3.12(↑)(前回 2.75)
- 4位(－)(前回4位) スポーツを通じた活気あるまちづくりの推進 3.08(↓)(前回 3.09)
- 5位(↑)(前回26位) 次世代モビリティ・システムの構築を通じた新たなネットワークづくり ... 3.08(↑)(前回 2.73)

※4位と5位の得点について、小数点3位以下で差がついています。

◆満足度が低い施策

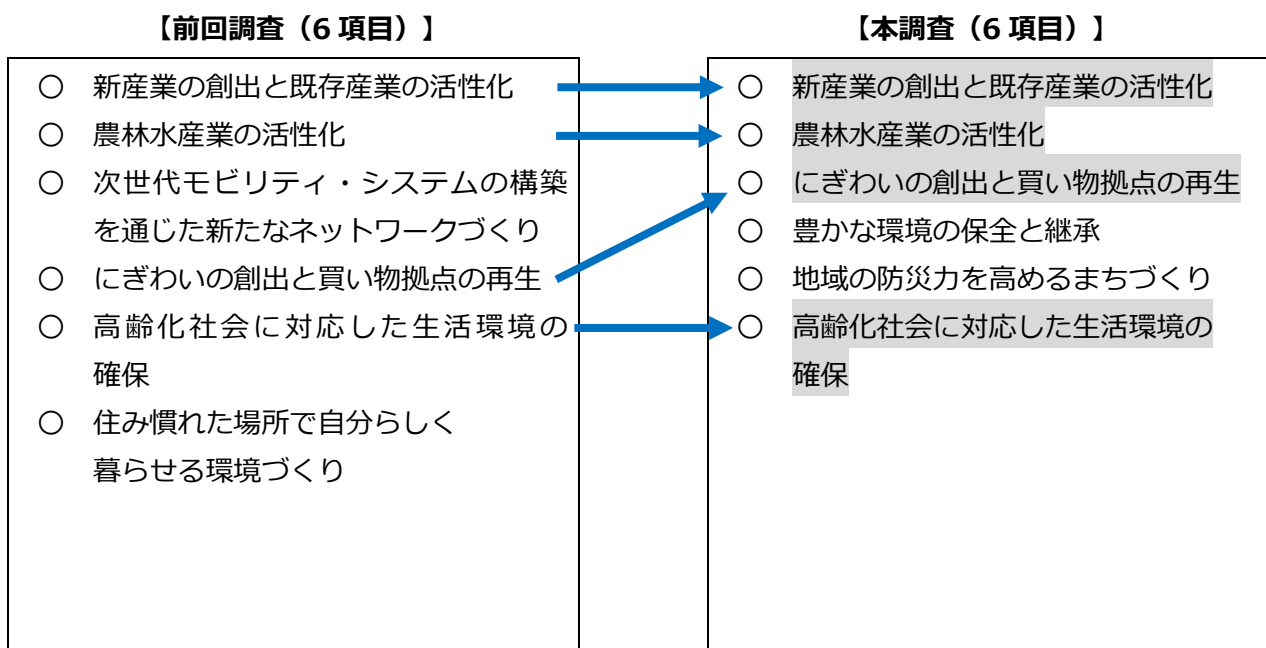
- 27位(－)(前回27位) にぎわいの創出と買い物拠点の再生 2.70(↑)(前回 2.68)
- 26位(↓)(前回25位) 農林水産業の活性化 2.75(↑)(前回 2.74)
- 25位(↓)(前回23位) 暮らしの空間の高質化 2.76(↓)(前回 2.81)
- 24位(↓)(前回20位) 高齢化社会に対応した生活環境の確保 2.84(－)(前回 2.84)
- 23位(↓)(前回18位) 新産業の創出と既存産業の活性化 2.85(↓)(前回 2.86)

◆期待が高い施策

- 1位(－)(前回1位) こどもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備 21.8%(↑)(前回 20.8%)
- 2位(－)(前回2位) 質の高い医療を安定的に提供する体制整備 20.0%(↑)(前回 19.7%)
- 3位(↑)(前回9位) 次世代モビリティ・システムの構築を通じた新たなネットワークづくり 18.2%(↑)(前回 15.4%)
- 4位(↓)(前回3位) 地域の防災力を高めるまちづくり 18.0%(↓)(前回 18.8%)
- 5位(↓)(前回4位) にぎわいの創出と買い物拠点の再生 17.8%(↓)(前回 18.4%)

【市民から特に求められている施策】

満足度が低く期待が高い項目は、「市民から特に求められている施策」と捉えることができます。
満足度が平均未満かつ期待が平均以上の項目を抽出しました。（順不同）



【満足度・期待に関する特記事項】

- 満足度について、昨年度実施した前回調査と比較すると全 27 項目の平均値は 2.93 から 2.98 に上昇した。個別の項目でみると、満足度が上昇した項目は 18 項目で、前回と同率が 3 項目となっている。他の 6 項目は減少となっている。
- 満足度が最も上昇したのは「交流を生み出す新たな四日市流都市型観光」（2.75→3.12）であり、一方、満足度が最も低下したのは「豊かな環境の保全と継承」（3.10→2.93）であった。
- 年齢層による満足度の差が大きい項目は、「緑豊かな住空間の形成」（最大 3.48（20 歳未満）、最小 2.82（60 歳代）、差 0.66）、「高齢化社会に対応した生活環境の確保」（最大 3.38（20 歳未満）、最小 2.75（60 歳代）、差 0.63）、「誰もがいつまでも健康で暮らせるまちの実現」（最大 3.53（20 歳未満）、最小 2.91（50 歳代）、差 0.62）などとなっている。
- 期待が大きく上昇したのは「緑豊かな住空間の形成」（9.2%→12.6%）、「次世代モビリティ・システムの構築を通じた新たなネットワークづくり」（15.4%→18.2%）、「ひと・まち・みずが共生する都市基盤づくり」（11.6%→14.0%）であった。
- 年齢層による期待の差が大きい項目は、「こどもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備」（最大 41.7%（30 歳代）、最小 7.6%（70 歳以上）、差 34.1）、「次世代モビリティ・システムの構築を通じた新たなネットワークづくり」（最大 30.9%（40 歳代）、最小 6.0%（70 歳以上）、差 24.9）、「夢と志を持ったよっかいちのこどもの育成」（最大 30.4%（20 歳代）、最小 6.5%（70 歳以上）、差 23.9）、「にぎわいの創出と買い物拠点の再生」（最大 32.0%（40 歳代）、最小 8.1%（70 歳以上）、差 23.9）などとなっている。

【一問一答設問における特記事項】

- ・ 市民の意見が市政に「反映している」と答えた人の割合は 23.9%で前回調査に比べ増加しており、「反映していない」と答えた人の割合も 24.7%で増加している。
- ・ 市職員の仕事ぶり等について「信頼できる」と答えた人の割合は 65.0%で、前回調査に比べ 1.3 ポイント増加している。「信頼できない」と答えた人の割合も 0.3 ポイント増加している。
- ・ 「四日市市居住に対する総合的な満足度」については、「満足」が 45.7%であり、約半数の市民が四日市での居住に対して総合的に満足している。また、「ふつう」が 40.2%であり、「満足」と合わせた 85.9%の市民については総合的にみて不満を感じていない。
- ・ 四日市市に関する情報を見たり聞いたりする機会として最も多いのは「広報よっかいち（全戸配布される広報紙）」で 87.0%、次いで「新聞記事」が 32.8%、「CTY『四日市市からのお知らせ』」が 16.2%、「市のホームページ」が 14.8%の順になっている。
- ・ 市が開催するイベントなどの行政情報の入手経路として最も多いのは「広報よっかいち」85.4%で、次いで「地区だより（地区市民センター発行）」が 27.7%、「新聞」が 19.8%となっている。
- ・ 市や地区が行う防災訓練への参加経験については、「防災訓練に参加したことがない」が 44.5%と最も高く、次いで「防災訓練に参加した（昨年度より以前）」が 37.0%、「防災訓練に参加した（昨年度）」が 16.8%となっている。
- ・ ハザードマップについては、「ハザードマップを持っている」が 48.2%と最も高く、次いで「ハザードマップを持っていないが知っている」が 37.7%、「ハザードマップを知らない」が 12.6%となっている。
- ・ 飲料水の備蓄状況については、「3 日以上」備蓄しているが 46.3%と最も高く、次いで「1 週間分以上」備蓄しているが 19.5%、「1 日分程度」備蓄しているが 18.8%となっている。
- ・ 食料品の備蓄状況については、「3 日以上」備蓄しているが 44.3%と最も高く、次いで「1 日分程度」備蓄しているが 26.0%、「備蓄していない」が 19.1%となっている。
- ・ 家具の転倒防止対策の実施状況については、「一部の部屋でしている」が 47.5%と最も高く、次いで「実施していない」が 41.8%、「すべての部屋でしている」が 9.9%となっている。
- ・ 「市議会だより」や「インターネット」等でお伝えしている市議会の活動内容について、わかりやすいと「思う」と答えた人の割合は 33.6%、「思わない」と答えた人の割合は 46.8%となっている。